

## 令和5年度第1回銚田市男女共同参画推進委員会協議結果まとめ

### 内 容

#### 1 開会

⇒市議会議員改選に伴い、推進委員にも変更が生じたため、変更となった推進委員を紹介。※土子勝也委員から高埜栄治委員に変更。

#### 2 委員長挨拶

#### 3 議事

##### 【報告事項】

##### (1) 令和4年度銚田市男女共同参画推進事業実績報告について

※意見については、別紙のとおり。

##### 【協議事項】

##### (1) 令和5年度銚田市男女共同参画推進事業スケジュールについて

⇒事務局案のとおり承認。

##### (2) 第6回パパ・ママ感謝の日特別企画フォトコンテスト（案）について

⇒今後の方向性について、推進委員会としての意見をまとめた上で、フォトコンテストを実施していくか、別の事業を実施していくか、次回以降も引き続き協議することとなった。

※意見については、別紙のとおり。

##### (3) パパ・ママ感謝の日運動チラシ（案）について

⇒前回の推進委員会で出された意見をもとにチラシ案を作成し、デザインや内容等について協議を行った。今回の推進委員会で出された意見も反映した上で、次回の推進委員会にて修正案について再度協議することとなった。なお、意見については、別添配布の意見書にて、9月8日（金）頃までに提出いただく。

※意見については、別紙のとおり。

##### (4) その他

※意見については、別紙のとおり。

#### 4 閉会

## (1) 令和4年度銚田市男女共同参画推進事業実績報告について

### 委員からの主な意見

- ・「パパ・ママ感謝の日運動」について、新聞チラシ折込みとフォトコンテストのこれまでの実績や評価、今後の方向性などについて聞きたい。
- ⇒本市ならではの取組として進めてきたが、令和4年8月に実施した市民意識調査を見ると、言葉の認知度は4割程度で定着が進んできているものの、内容の理解度が1割程度となっていることが分かった。前回の推進委員会でも今後の方向性について協議を行い、認知度の定着が完全ではないため、新聞チラシ折込みを継続することとなった。前回の推進委員会で出された意見をもとにチラシ案を作成したため、デザインや内容等について協議し、内容の理解度も上げていければと考えている。フォトコンテストの応募も少ないため、応募しやすい事業内容（家庭内でのエピソード募集など）も考えていきたい。
- ・「パパ・ママセミナー」の参加者が少ないが、定員を設けていたのか。
- ⇒些細な疑問や今さら聞けない悩みを抱えた方も気軽に参加できるよう、先着15組までを定員とし、子育て世代包括支援センターとも連携しながら募集した。直前にキャンセルが出て少なくなってしまったが、今後は参加者が増えるよう、事業内容や周知方法を考えたい。

## (2) 第6回パパ・ママ感謝の日特別企画フォトコンテスト（案）について

### 委員からの主な意見

- ・これまで応募があった写真のフィードバックはしているのか。「パパ・ママ感謝の日運動」の周知として始まったとあるが、周知に繋がっているのか。「家事シェア」に特化しすぎであるため、今回の料理をしている写真が男女共同参画に繋がるのか疑問である。賞品の金額を上げているが、そもそもInstagramでの応募が少ないため、他にも予算の使い道があるのでは。別の募集方法を考えた方がいいのでは。
- ⇒応募があった写真は、広報紙やフォトコンテスト用のチラシでフィードバックしている。「家事シェア」に特化しているかもしれないが、まずは家庭内での家事を家族で協力してもらうことを第一歩に実施できればと考えている。募集方法については、広報紙やチラシの他に、DSP 広告（Web サイトやアプリ上で、ターゲットの位置情報や検索履歴で興味・関心度の高い人に広告を表示）を今回も実施予定で、前回はクリック数が伸びていた。周知はできていても実際の応募に繋がっていないため、募集方法については今後も引き続き検討していきたい。
- ・DSP 広告ではなく、別の広告媒体を考えた方がいいのでは。DSP 広告を実施するにしても、イラストや写真などの表示方法を変更した方がいいのでは。費用対効果を考えながら募集方法を検討した方がいいのでは。
  - ・保育園や幼稚園、学校などにもチラシを配布できるよう、「パパ・ママ感謝の日運動」の名称を変更してはどうか。認知度の効果が得られないのであれば、名称を変更した方がいい。「誰

- もが輝く〇〇〇」など、男女共同参画推進についてストレートに伝わる内容がいいのでは。
- ⇒名称を再度検討していくことも一つの方法であるため、今後協議していきたい。
- ・確かに名称を変更した方がいいと思うが、「パパ・ママ」以外に何があるか悩んでしまう。また、現在のチラシデザインのエプロン姿などでは、内容を誤解されてしまうかもしれない。
  - ・フォトコンテストにこだわらなくてもいいのでは。県内で男女共同参画について積極的に推進している自治体を参考にした上で、今後の事業内容を考えていきたい。
  - ・まずは家庭内での家事を家族で協力してもらうことを第一歩に、「家事シェア」に特化してきたかもしれないが、このまま事業を進めていくにしても、いったん推進委員会の中で男女共同参画について勉強する機会を設けた方がいいのでは。今後の方向性について、推進委員会としての考え方や意見をまとめた方がいい。
- ⇒令和元年度に、行方市男女共同参画推進委員会と交流会を行った。勉強する機会について、今後検討していきたい。

### (3) パパ・ママ感謝の日運動チラシ（案）について

#### 委員からの主な意見

- ・予算面で可能であれば、このチラシの中に QR コードなども入れて、感謝の言葉を 200 字程度で投稿できるようにし、その中から抽選でプレゼントするといった内容もいいのでは。事務局側に、投稿内容などがダイレクトに届くような取組ができるといいのでは。
- ⇒少し時間がかかってしまうかもしれないが、内容等も含めて今後検討していきたい。
- ・これまでのチラシデザインを変更し、新しくするというのか。
- ⇒その通りである。ただし、今回の推進委員会でチラシ内容を確定するのではなく、意見をもらいながら、これまでのチラシデザインの中で残った方がいい部分なども含め、引き続き協議していきたい。

### (4) その他

#### 委員からの主な意見

- ・性の多様性やジェンダー平等などについて、推進委員会として理解を深めていきたい。県内には男女共同参画推進事業所に認定されている事業所もあり、銚田市でも実施していくかは別だが、推進委員会として理解しておいた方がいい。幼少期からの男女共同参画推進として、教育委員会とも連携しながら、家庭教育学級での男女共同参画に関するアンケートや調査なども行い、推進委員会として理解を深めていきたい。これらの理解を深めた上で、銚田市の今後の方向性について足並みを揃えながら協議・事業を推進していきたい。
- ・PTA 役員名簿に父の名前を書く家庭が多いが、実際に PTA 行事などに出席するのは母がほとんどである。こうしたところからも意識を変えていけるといい。推進委員会では、「家事シェア」だけに限らず、男女共同参画推進について広く協議していけるといい。